



海といのち



「海といのち」とは、人類だけでなく、生態系すべて、生きとし生けるものを指します。そして、これらは、つながりあって生きています。たとえば何らかの原因で生態系が乱れ、食物連鎖が途切れれば、いつか自然界の秩序は失われてしまうでしょう。これは海や自然の恵みとともに生きるマルハニチロにとって、重要な課題とらえています。

そうした背景から、私たちの10年後のあるべき姿を明確化した「サステナビリティ長期ビジョン」を策定(2018年)。事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs*)」の達成に貢献することをめざしています。

なかでも、「海洋資源の持続可能な開発・利用」や「持続可能な生産消費形態の確保」などは、私たちの事業と切っても切れぬ関係にあり、当社ならではのアプローチが求められます。

こうしたアプローチの背骨となるのが、バックボーン生命(いのち)へのリスペクトです。

*Sustainable Development Goals。2015年に国連サミットで採択され、193ヵ国が加盟。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標を掲げている。